

河川事業の再評価概要書

() は、前回再評価時

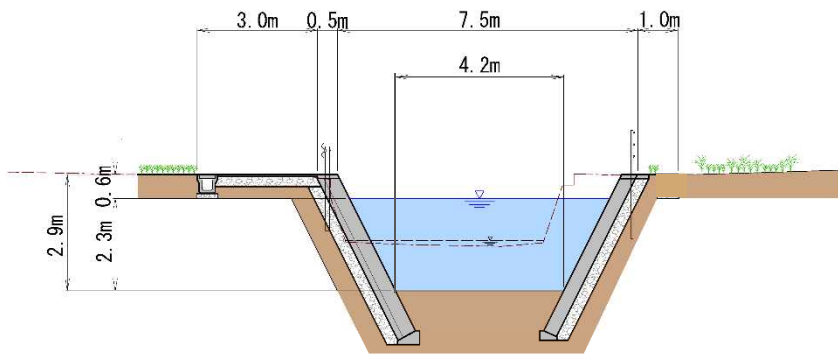
番 号		1		
事業主体		栃 木 県		
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>こやぶがわ</small> 小藪川		事業箇所名	<small>かぬまし</small> 鹿沼市 <small>にしかぬまち</small> 西鹿沼町
事業区間	<small>かぬましはなおかまち</small> 鹿沼市花岡町地先～ <small>かぬましにしかぬまち</small> 鹿沼市西鹿沼町地先		事業延長	2, 010m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H28) H9 ~ H31	事業 進捗 状況	基準年次：【平成27年度末時点】	
〔うち用地補償費〕	[8.6 (5.9) 億円]		進捗率	
全体事業費	40.6 (13.7) 億円		〔うち用地補償費〕	[4.9 億円] [57%]
			既投資事業費	11.8 億円 29%
事業概要				
<p>小藪川は、鹿沼市街地の北西部に位置する岩山にその源を發し、鹿沼市の西部市街地を南下し、思川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大及び調節池により、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更 等				
<p>平成25年7月に発生した最大時間雨量94mmの豪雨(確率規模 約1/80)により、小藪川の上流域において大きな浸水被害が発生した。(浸水面積13.2ha、床上浸水45戸、床下浸水62戸)</p> <p>これを受け、栃木県と鹿沼市は平成25年7月洪水と同規模の豪雨が発生した際に、対象流域において床上浸水被害を概ね解消することを目標とする「100mm/h安心プラン」を平成26年2月に策定した。</p> <p>さらに、栃木県では小藪川の対象降雨を最新のデータで見直し、従来の計画よりも強い雨に対応することとした。</p> <p>これに伴い、調節池の整備を新たに追加する等、河川改修事業の大幅な計画変更が必要となった。</p>				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
【総便益 (B)】		【総費用 (C)】		
1) 事業全体	B/C = 10.0	415.8億円	41.5億円	[L=2,010m 区間]
2) 残事業	B/C = 8.8	231.0億円	26.2億円	[L=1,110m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長2,010mのうち、下流端から富士見橋上流までの900mの整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
平成31年度の完成を目指し、残る区間の用地買収と工事を迅速に進めていく。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
河川工事で発生した残土を他事業に流用し、工事費の縮減に努める。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間は市街地内で、大規模な遊水地や放水路等の適地がないことから、本計画(河川改修+調節池)が最適である。				
事業の対応方針(案)	本計画で事業を継続する。			

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



計画規模	1 / 10
計画流量	27~47m ³ /s
現況流下能力	8 ~22m ³ /s
計画勾配	1 / 230

(汚染橋下流)

概要図

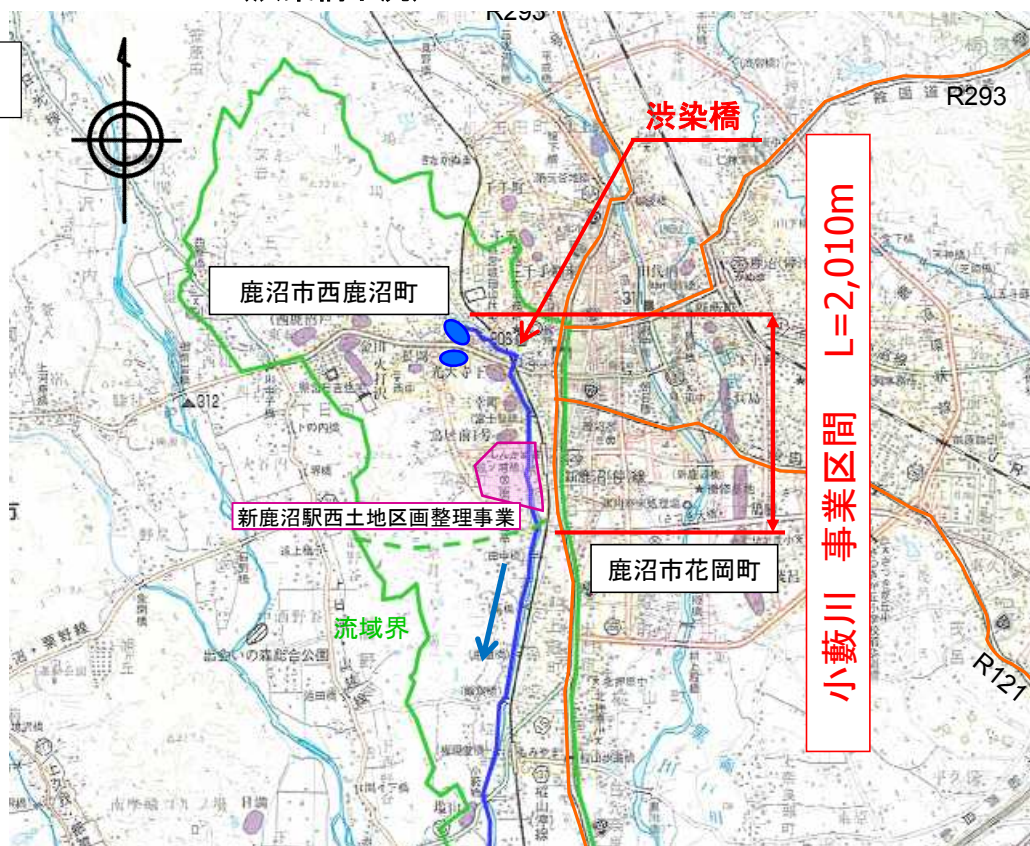


写真1
未改修区間(県道
鹿沼日光線上流
付近)の状況
(出水時)



写真2
未改修区間(県道
鹿沼日光線上流
付近)の状況
(平常時)



写真3
改修済区間(新鹿
沼駅西側)

